

【オプトアウト（情報公開と拒否の機会保障）について】

通常、人を対象とする研究を行う際は、対象となる方から直接説明を行い、同意（インフォームド・コンセント）を得ます。

しかし、過去の講義アンケートや診療データなど、個人が特定されないよう安全に保護された情報のみを用いる研究においては、一人ひとりに直接同意をいただく代わりに、研究の目的や内容をあらかじめ公開し、対象となる方がいつでも拒否できる機会を保障する手続きが認められています。これを「オプトアウト」といいます。

現在実施中の研究

以下の研究において、過去の講義等で得られたアンケートデータを利用させていただきます。ご自身のデータを研究に使用してほしくない場合は、各研究の公開文書（PDF）内に記載されているお問い合わせ先へご連絡ください。拒否された場合でも不利益を被ることは一切ございません。

研究題目名：能動・協働学習を持続可能にするための次世代教員養成：歯学大学院生の認識する教育的利点

研究責任者：山本 龍生（神奈川歯科大学 口腔衛生学分野）

研究対象者：2021 年度から 2025 年度 歯学研究科「医学英語演習」受講・修了した大学院生

【詳細（オプトアウト文書）は[こちら（PDF）](#)】

※研究に関するご質問や、データの利用停止をご希望の場合は、各研究の PDF 文書内に記載されている「お問い合わせ先」までご連絡ください。